

2008年春の見学会 33名が参加



予てから計画していた見学会が、5月24日(土)に無事終ることができた。

参加者は33名で、定刻8時20分に一人の遅刻者もなし。貸し切りバスで横浜天理ビル脇を出発。高速道路に乗って首都高速から常磐道を経て一路つくばへ。途中は、ビデオで「どう進める太陽光発電」という、NHK放送の第24回太陽光発電シンポジウムの様子を見ながら行った。

それまで暖かな陽気が続いていたのに、予報は低気圧の接近で各地昼頃から雨になるという。こういう時に何でなんだと天を恨みながら、覚悟をして出発したのだが、太陽が顔を出し、青空も広がっている。その内に降ってくるかと待ちつつ走るが、よい天気はそのまま。

10時半到着予定が、10時少し過ぎには産総研に着くという順調さ。主任研究員の加藤和彦さんが受付まで出迎えてくれた。「お天気になったので、今朝急いで実験の準備をしていたので--」と張り切っている様子。加藤さんは構内を走る車を時々止めて、設備などの説明をしてくれる。

太陽光発電研究センター棟の近くに来てみな車を降りると、中に入る前に、センターの壁面の太陽電池パネルについて説明を始める熱心さ。会議室に入ってご挨拶もそこそこに、天気の良い今の内にと屋上へ。太陽電池パネルの設置場所まで行き、モジュールに影が当たるとどうなるかの実験に入る。(写真参照)



予め、パネルの一部に何箇所か場所を変え、張り紙をして影を作り、-- これが実験の準備だったのだ。そのパネルを裏側から、赤外線カメラでバイパスダイオードのところを測る。明らかに温度の上昇が見られた。また、バイパスダイオードの入っている結線箱のところには、温度センサーのシールを貼って、いつも観測しているのだそうだ。影がどこに当たるとどのような影響が出るか実感することができ、みなさん「ナルホド」と得心がいった様子である。

次は、そのように影がかかっているパネルについて、実際の発電状況をチェックする。ストリングス毎にIVカーブを調べて見ると違いがわかる。

「実際に見ることができ、よく理解できた、よかった」という声があちこちで聞かれた。

最後は、各メーカーのいろいろなパネルが比較検討できるように、200メートルほどもある敷地に設置されている現場へ移動。それぞれのモジュールの種類、製法、特性等を、加藤さんは汗だくで説明してくれる。



各メーカーのパネル試験、設置場所での加藤さんの説明を聞く
PV-Net見学会 2008-5-24



産総研・各メーカー太陽光モジュールの設置場所で
PV-Net見学会 2008-5-24

時計は12時半を回ろうとしていた。会議室に戻り、みんなで一緒に昼食を摂る。

1時半に第2の見学場所、つくば宇宙センターに向かった。産総研の直ぐ隣にある。宇宙センターはセキュリティが厳しく、予めフルネームと年齢を届けておいたのだが、人数をチェック、紙のバッチを左胸に貼り、構内を出るまではつけておくことと注意を受けた。部屋の出入り口ではカウントしている。初めに視聴覚室で、センターの概要をビデオで見た。その後センターのツアーバスに便乗し、施設をガイド嬢の案内で周る。

まず、展示室。ペンシルロケットから最新のH Bロケットまでが20分の1の模型で展示されていた。また、いろいろな人工衛星の実物大モデルが展示されている。国際宇宙ステーション「きぼう」の実験棟の模型があり、中に入って見ることができた。次に案内されたのは宇宙ステーション試験棟である。日本の実験棟フライトモデルを製作する前の実機とほぼ同じ、エンジニアリングモデルや保管庫、ロボットアームなどが高い窓から見下ろすことができる。(写真参照)



国際宇宙ステーション・日本の実験棟「きぼう」のエンジニアリングモデル

つくば宇宙センター 2008-5-24

最後に案内されたのは、ロケットの発射音の体験室で、Hロケットとアメリカのスペースシャトルの発射音を比較して映像と共に体験するのである。



国際宇宙ステーション・日本の実験棟「きぼう」の内部モデルを見学

最後の見学施設、国土地理院には予定通り、3時40分頃到着。係が待っていてくれて、早速、「地図と測量の科学館」を見学した。最初に、オリエンテーションルームで、国土地理院の紹介ビデオを約20分間見た。その後、雨模様なので、先に外に出て、地球広場の直径22メートルの日本列島球体模型に上って、300キロ上空からの日本列島を眺めて歩いた。2階の展示室は、ざっと見ただけで、4時半の閉館になってしまった。



すべての見学を終って帰りのバスに乗る、しばらく走ってから、アンケート用紙を配り、きょうの見学会の感想などを書いてもらった。東京に入る手前あたりから雨が本降りとなり、渋滞にもなってきた。しかし、湾岸線に入るとまずまずの流れになり、6時40分頃無事に天理ビル脇に戻り、解散した。

横谷記